

頸椎症性神経根症

No. 1
Date 5.4.22

症例報告

丸野 修

症例 K.T 60才 女主婦
初診 平成5年2月12日
主訴 左上腕外側の痛みとしびれ

現病歴 若い頃から肩こりがあり、時々マッサージも受けていた。11月の初旬から、左肩甲骨のあたりから異常にこり始め、そのうちに左上腕外側のあたりと母指にビリビリするようなしびれを感じるようになった。思い当たる原因はなく、外傷の記憶もない。日常生活に支障をきたすほどの痛みではなかったため、病院にも行かずにほっておいた。3ヶ月位で母指のしびれはなくなったが、他の症状が良くなりえず不快なので来院した。

現在は左側頸部と肩甲骨あたりがこり左上腕外側にしびれがある(図1)。頸を動かしたり、腕を動かすとしびれが変わるような気がする。夜間、痛みのために目が覚めるような事はない。筋力の低下はない。巧緻障害、膀胱、直腸障害はない。上肢挙上位における痛みとしびれの増悪はない。その他一般健康状態は良好である。スポーツは週に一回スポーツクラブに行っている。アルコールは眠れなるときに、ビールをコップに1杯位飲む程度。仕事は家事以外なにもしていない。

既往歴 特記すべきものなし。
家族歴 特記すべきものなし。

No. 2
Date

診察所見 握力、左21kg、右23kg。頸の後屈は陽性、左肩甲間部から上腕にかけて痛みの誘発がある。左側屈痛は陽性、右側屈痛は陰性。左回旋痛は陽性、右回旋痛は陰性。モリーテストは左右とも陰性。アドソンテストは左は陽性、右は陰性。筋萎縮は認められない。触覚障害は左母指と左上腕外側に知覚鈍麻が認められる。二頭筋反射は左減弱、右は正常。腕橈骨筋反射は左減弱、右は正常。三頭筋反射は左右とも正常。スパーリングテストは左陽性、右は陰性。肩圧迫テストは陰性。ライトテストは左右とも陰性。エデンテストは陰性。三分間拳上テストは陰性。膝蓋腱反射は正常(表1)。圧痛は左肩井、天宗、曲池に検出された(図2)

要約 本症例は誘因なく発症し、上腕のしびれを訴え、頸椎の後屈、側屈、回旋により、愁訴の増悪が認められ、また腱反射の減弱を認め、アドソンテスト、スパーリングテストの陽性の所見と患者の年齢から推測すると、頸椎症性神経根症が推定される。(1)
膝蓋腱反射は正常で、巧緻障害、歩行、膀胱、直腸障害が認められないことから、頸椎症性脊髄症は除外できる。(2)
進行性の激しい疼痛や夜間痛もないことから、頸椎周辺の腫瘍や炎症性疾患も除外できる。(3)(4)

さらに、ライト・テスト、エデン・テストが陰性なことから胸郭出口症候群も除外できる。左母指と上腕外側に知覚鈍麻を認め、二頭筋反射と腕橈骨筋反射が減弱であることから、C5、C6の神経根症と推測した。(4)(5)

対応 肩や腕の神経は頸の骨と骨の間から出てくるのです。骨にたにも以上がなくてもまわりの筋肉やすじがつかれてくると神経の根もとの部分が圧迫されて炎症を起こして痛みやしびれが出てくるのです。肩や腕が悪いのではないのです。なるべく重い物は持たないようにして下さい。鍼治療で頸のまわりの血行をよくしてこりが取れば痛みやしびれもなくなります。寝る時は頸の骨が直すぐになるように低い枕にして寝て下さい。

治療経過 針治療は神経根および疼痛とその周辺の愁訴の緩解を目的として行なった。(4)(3)
第1回、伏臥位にて、針は中国針ステンレス1寸6分32号(50mm-0.26mm)を用い、左五頸六頸に約3cm位刺入、1寸3分32号(40mm-0.26mm)を用いて左右、天柱、風池、肩井、附分、左膏肓、天宗、肩中俞にそれぞれ2cm~2.5cm位得氣を得る迄刺入し8分間置針それぞれに中国製電麻機701にてパルス通電、赤外線灯にて加温した。

仰臥位にて、左、曲池、中府、肩髃、左右、天枢、上腕中腕、足三里、に同じように治療した。

第2回(2日目)治療後寝るまではたいぶ楽だったが今朝はもとにもどっていた。
治療同じ。

第5回(8日目)左上腕外側のしびれはとれたようだが、頸部と肩甲骨のこりがのこっている。
治療同じ。

第8回(15日目)なんとなく肩こりはあるが初期の不快感はなくなった。

以後10日1回位肩こりにて来院している。

考察 本症例は原因なく発症し頸背部のこりと上腕のしびれを訴え、検査の結果から頸椎症性神経根症と考えた。

対応でものべた通り、頸に原因のある痛みであっても、肩、腕、手、また母指などで感じられるものは椎間孔付近での頸髄神経根の刺激によるものが多い。(4)こりとしびれの部位から頸部を重点に治療を行なったが、経過からみても針治療、特にC5、C6の取穴が効果的であったと思う。

沈の位置

五頸 天柱の真下 C5棘突起の高さ。
六頸 " C6 " "

参考文献

- 1) 出端 昭男 「問診・診察ハンドブック」医道の日本社 S.62.7.7.
(1) P86 (2) (3) P87 (4) P90
- 2) 荻島 秀男 「肩の痛み」医歯薬出版 1986.6.20.
(5) P90~91 (6) P93.
- 3) 荻島 秀男 「頸と腕の痛み」医歯薬出版 1987.4.15
(7) P59

(表1)

頸・上肢痛

H5年2月12日

1 握力	左 Z1 ⊕ Z3	9 二頭筋	左 ± 右 ±
2 後屈痛	- ⊕	10 腕橈骨筋	左 ± 右 ±
3 側屈痛	左 - ⊕	11 三頭筋	左 ± 右 -
	右 ⊖ +	14 スパーリング	左 - 右 -
4 回旋痛	左 - ⊕	15 肩圧迫	左 - 右 -
	右 ⊖ +	16 ライト	左 - 右 -
5 モーリー	左 - 右 -	17 エデン	左 - 右 -
6 アドソン	左 ± 右 -	18 三分間	左 - 右 -
7 筋萎縮	左 - 右 -	2. 左肩甲向部から上腕にかけて痛みの増強	
8 触覚障害	左 ± 右 -	8. 左母指背側と上腕外側に短覚鈍麻	
12 PTR	+	13	バヒンスキー

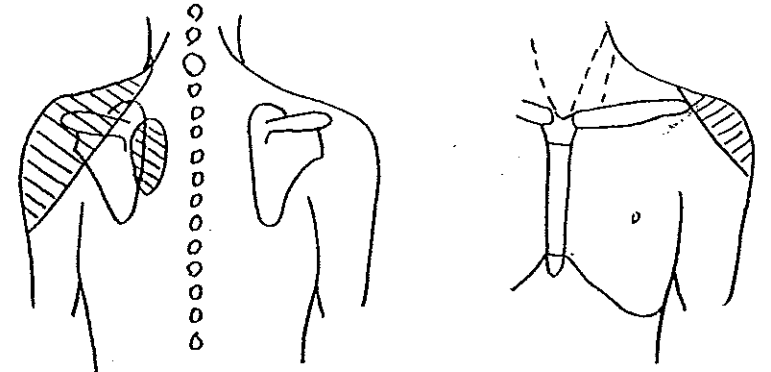
(医道の日本社)

初期のシビレ

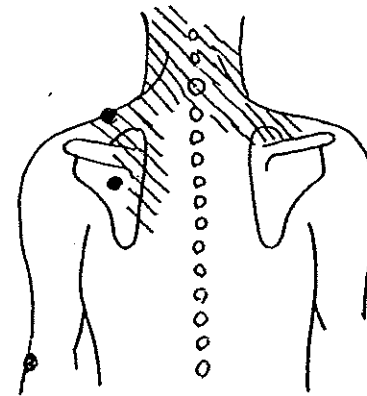


(図1)

初診時のこりとシビレ



(図2) こりと圧痛



(図3) 沈

